

農場だより

はじめまして！

創刊号(第一号)

平成21年7月11日



代表の田村誠一は、昭和47年高校を卒業し、農業に従事しました。当時は、親と共に施設園芸(ビニールハウスで、トマトや、きゅうりの栽培)や露地園芸(なす、メロンの栽培)をしていました。その後、高度成長期に入り、田の耕作をやめる人が多くなってきたため農地の請負耕作を始めました。そして、昭和60年3月に農業生産法人(一農家)として認定を受け、地域の農地の受け皿として現在に至っています。

法人設立後、おかげ様で25周年を迎えることが出来ました。新たなる心構えと共に農場だより等を通じ、皆様方に情報などをお伝えし、交流できればと思っております。

経営概況

総経営面積 3,700a(平成21年度)

(設立当初350a 昭和60年度)

お米 3,000a(2,500 ~ 2,700 俵)

JAS 有機 120a

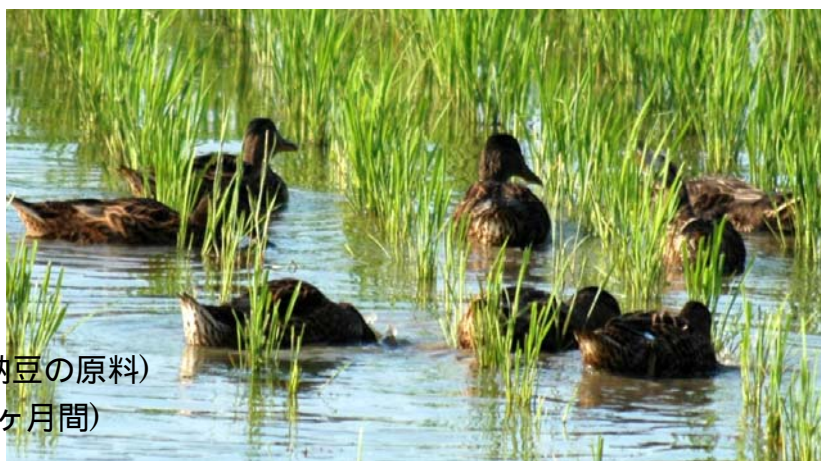
特別栽培農作物 650a

大豆 700a(エンレイ~とうふ、納豆の原料)

その他 切りもち(11月~1月の3ヶ月間)

野菜

(社員) 代表含め、4名にて仕事をしています。



イベント情報 (平成21年)

米山農場

- ジャガイモ掘り体験 7月11日(土)~12日(日)
- 収穫感謝祭 11月上旬予定

柏崎地域

- えんま市(約200年の歴史)6月14日(日)~6月16日(火)
- 海開き(海水浴) 7月5日(日)
- ぎおん柏崎まつり 7月24日(金) 民謡街頭流し
25日(土) たる仁和賀(みこし)
26日(日) 海の大花火大会

社是

日本の緑と大地を守り
永遠の人間の
食生活の一翼を担う

裏面もご覧下さい

会社案内パンフレット作成記

「さあ、皆さん田んぼに入って並んでください」「つべこべ言わず、長靴が無ければ裸足になって入れればいいんじゃないの」

などと指示されて、皆ゆっくりと田んぼに入りました。新人の桑野君は、あいにく長靴を持ってきておらず、渋々裸足になり入りました。

「ヒルに刺されるから嫌なんだよな～」などとブツブツ言っていたら、

「この辺はヒルはいない」と社長に叱られていました。しかし、回りから「ヒルは沢山いるよ～」との声が飛び交い、しばし田んぼの生きもの調査と

なってしまいました。

写真撮影は色々な場面を撮影しました。

同封の会社案内パンフレットを、是非ご覧下さい。

私達の気持ちがたっぷり詰まったパンフレットに仕上がっています。



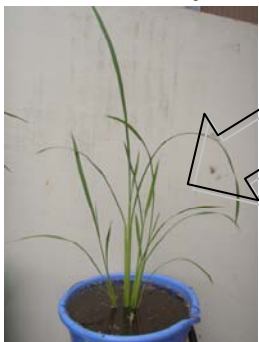
バケツ稲 観察記



6月18日
まだ1本です。



6月25日
2本になりました。



7月4日
4本まで増えました。

皆さん、はじめまして。上記のパンフレット作成記にて、いろいろ書かれてしまった桑野です。今号の農場だよりから、バケツ稲の成長を報告します。

左の写真に写っている苗は、5月25日に田植えをしたコシヒカリです。写真を並べると、茎と葉が増えていることが、よくわかります。このように一定の法則にしたがって、増えていくことを、分けつといいます。幼穂形成期まで分けつし、最終的には、30本前後まで増えるそうです。

増えれば増えるほど採れるお米が、増えるんじゃないか？と思った方もいるかもしれませんが。社長に聞いてみたところ、養分や成長するための空間、稲のバランスなど様々な要素が、複雑に関係しているので、そう簡単な話じゃないとの事です。何事も程々が一番という事ですね。

次回の報告までにどこまで成長するか、楽しみです。それでは、次の第2号でまたお会いしましょう。